

第 2 回 大型車の長期的な低炭素化に向けた勉強会 議事概要

1 日時：令和 2 年 1 月 30 日（木）10:00～12:00

2 場所：TKP 新橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム 12I

3 出席者

大聖委員長、飯田委員、今井委員、大西委員、小杉委員、坂本委員、竹中委員、田中委員、中谷委員、二村委員、北條委員、本多委員、矢野委員

4. 議事

(1) 話題提供

(資料 1) 大型車における CO2 排出量推計手法の開発

主な意見は、以下のとおり。

○ドライバーの件費の高騰やドライバーの人口動向、GDP の構造変化等を考慮して計算する必要があるのではないか。

(資料 2) 航続距離等の特性に関するデータ収集及び事業性検証調査

主な意見は、以下のとおり。

○ユースケースを検討するにあたっては、平均化されたデータだけでなく、実データを考慮することも重要ではないか。

(資料 3) 車載デバイス活用事例

主な意見は、以下のとおり。

○省エネ、積載率向上に資するテレマティクス技術は進展しているが、物流事業者の多くを占める中小企業事業者にいかに関活用してもらうかが問題である。

○EMS をドライバーの教育に活用している事業者においては、燃費向上、急加速・急減速減少による事故率減少が生まれている。

(資料 4) スーパートラックプロジェクト、Horizon2020

時間の関係から、次回に持ち越しとなった。

(2) ヒアリング結果

(資料 5) ヒアリング結果（大型車メーカー、バス事業者）

主な意見は、以下のとおり。

○今後事業者へヒアリングする際には、現在の経営課題を聞いてほしい。

以 上